

太陽になる時

瞼を閉じたら
あなたに逢えるのよ

瞬き一つで
あなたは何処に行く
追いかけて

偶然と必然の風
吹き流れてゆく
それを結んで糸電話
声が聞こえるよ

ちょっとだけ未来に
行くことは出来たって
今まだ 時は戻せない
ほつといたって前に進む
刻む音
打ち鳴らせ 心地良く

丸ごと全部木っ端微塵に
端折られて
それでも残るもの
形あるものは失せるなら
この気持ちとあなたのこと
残したい

瞼を閉じれば
あなたは現れる
目の前に

空っぽの箱贈り物
記憶詰め込んで
それを結んで開いていく
声が震えるよ

心はまだまだどうしてこんなに
動いてる
手離すことは容易くて
ほつといたって回って止まない
風向きよ
頬に受け 気持ち良く

きっと一番厄介で面倒な私達
なおさら引き寄せ合う
時空も時代も飛び越えて
かけがえのない一瞬を 残したい

愛しい日々を
愛しきこの時を
あなたと愛すべき全てを

心はまだまだどうしてこんなに
動いてる
わくわくしていこう
夜が明けるまでも待てないよ
太陽になる時が来た 私達

愛しい日々を
愛しきこの時を
あなたと愛すべき全てを